

障害者支援施設 羽合ひかり園

1 基本方針

どんなに障がいが高くとも「施設から地域の中へ」を目標とし、一人ひとりの幸せを考え、その人らしい豊かな生活が送れるよう支援する。

2 今年度重点事業目標

(1) 利用者支援の充実

ア 行動障がい者への支援

(ア) 行動障がいのある方が、安心して穏やかな生活が送れるよう、医療（精神科医）・支援の専門職（スーパーバイザー）と連携して、医療相談、ケース検討会を定期的に実施し、利用者一人ひとりに適切な支援を行うよう努める。

(イ) 多くの職員が強度行動障がい支援者養成研修を受講して、専門知識や支援技術を習得することにより、不適応行動の軽減、環境整備、余暇の充実など一貫した支援に取り組む。

イ 重度知的障がい者の高齢化支援への充実

(ア) 医療機関との連携し、利用者の健康状態の変化を早期に発見する。

(イ) 専門機関（OT又はPT）から介護技術や生活リハビリの実施方法について定期的に助言、評価を受け、利用者個々の残存機能に留意しながら身体機能の低下を防止する。

ウ 在宅の強度行動障がい者への支援

鳥取県在宅強度行動障がい者に対する在宅支援の効果検証事業に協力する。

エ 地域貢献活動の推進

湯梨浜町の福祉の町づくりや環境美化等に積極的に参加し、地域貢献に努める。

(2) 虐待防止

ア 権利擁護及び虐待防止に関する研修に参加し、人権意識の醸成及び支援スキルの向上を図る。

イ 虐待防止チェックシート、虐待の芽チェックシートを実施し、自身の支援を振り返る機会とするほか、虐待に繋がるおそれのある事案は、速やかに施設全体で要因を検証し、対策を講じる。

ウ 職場におけるストレスチェックを実施し、その結果について産業医とともに衛生委員会において検証する。

また、メンタルヘルス研修会、アンガーマネジメント研修等に積極的に参加し、その情報を職場全体で共有し、職員個々のメンタルヘルスの維持に努める。

(3) リスク管理と感染症予防

ア リスクマネジメント会議の毎月開催、個別のリスク管理表の適宜見直しを行い、早期にリスクの要因を検証し、利用者が安心、安全な生活を送れるよう事故防止に努める。

イ 新型コロナウイルス感染症を施設内に持ち込まないよう対策を講じるとともに、陽性者が発生した場合は速やかに適切なゾーニングを行い、感染拡大を防ぐ。また、インフルエンザ・ノロウイルス等その他の感染症予防にも万全を期すよう努める。

(4) 経営改善

ア 当園の将来構想及び「日中サービス支援型共同生活援助」の設置の時期等について、高騰している建設費の動向を確認しながら検討する。

イ 今年度から短期入所の定員を空床型から2名及び空床型に変更した。この部屋を活用し、受け入れの促進を図る。

ウ [目標稼働率：生活介護116%、施設入所支援97%、短期入所15%]を目指す。